

## 【2019年3月新着図書案内】

# 情報コーナーに新しい図書が35冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『女性の「定年後」 何をして、何をしないか』	香山リカ著	大和書房	2018年	159.6カ オレンジ	仕事、古い、恋愛、家の問題、健康法など、今どきの「定年後」をめぐる女性のあれこれ。女性が「老いていく準備」について全方位から考察する。
『女の後半戦 30歳からの人生設計』	E i k a(イラスト) 白河桃子、芳川幸子、 吉野一枝監修	幻冬舎	2018年	159.6シ オレンジ	結婚、子育て、お金、親の介護、老後…。30代女性が抱える不安に対する専門家のアドバイスと、自分なりの向き合い方を探すコミックエッセイ。
『70歳、だから何なの』	松原惇子著	海竜社	2017年	159.6マ オレンジ	70歳をどう受け止めたらいいのか。このままの延長でいいのか、違うことにチャレンジするべきか…。思い残すことなく70代を生きたいと望む著者が気持ちを綴ったエッセイ。
『女性起業 はじめの一步と続け方 女性経営者16人が教える起業のポイントと 続ける極意』	ブレインワークス著	カナリアコミュニ ケーションズ	2018年	335.1ブ ミズイロ	自分らしさを求め、自分がしたいこと、人のためになること、自分のキャリアを輝かせて生きたい。そんな想いから、さまざまな業界で起業し活躍する女性たちの姿。
『模擬起業 あなたの経営センスを試す 起業シミュレーションブック』	ヨアン・リエラ、 トマス・ソレル著 円田藍訳	CCC メディアハウス	2015年	335ヨ ミズイロ	主人公が友人と立ち上げたあるベンチャー企業という設定を題材に、起業家であれば遭遇するであろうさまざまな事例を疑似体験することができる、体験型の読み物。
『日常のなかの「フツー」を問いなおす —現代社会の差別・抑圧』	植上一希、伊藤亜希子編	法律文化社	2018年	361.8ウ アカ	「青年」「貧困・高齢者・病」「性」「多文化共生」という4つのテーマから差別・抑圧をひもとき、権利を侵害されない・侵害しないという能力の基本を身につける。
『多様化する日本人の働き方 —非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る』	阿部正浩、山本勲編	慶応義塾大学 出版会	2018年	366.2ア ミズイロ	「非正規雇用・貧困」「女性の就業・出産・育児」「定年・引退前後の高齢者の就業・健康」という切り口から多角的な分析を進め、日本の労働市場の今後あるべき方向性を探る。
『ルポ 中年フリーター 「働けない働き盛り」の貧困』	小林美希著	NHK出版	2018年	366.2コ ミズイロ	増加の一途を辿る、非正規雇用で働く35～54歳の「中年フリーター」。なぜ働き盛りが満足に働けないのか。当事者取材と各種統計から、見えざる貧困の実態を描き出す。
『21世紀の女性と仕事』	大沢真知子著	左右社	2018年	366.3オ ミズイロ	アメリカで起きた静かな革命と呼ばれる女性像の転換と社会進出。それが日本では、諸外国に比べあまりに小さな変化であるのはなぜなのかを、アメリカと比較しつつ解明する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『家族・地域のなかの女性と労働 —共稼ぎ労働文化のもとで』	木本喜美子編著	明石書店	2018年	366.3キ ミズイロ	福井県勝山市で織物業に従事し、結婚後も継続的に就労してきた女性へのインタビューデータを中心に、高度成長期の女性の労働と生活を、多面的に浮き彫りにする。
『わたし8歳、職業、家事使用人。 世界の児童労働者1億5200万人の1人』	日下部尚徳著	合同出版	2018年	366.3ク ミズイロ	よその家に住み込み、雇い主の世話をする家事使用人として働かなければならないバングラデシュの女の子の厳しい現実や直面する課題、問題解決に向けた取り組みを紹介する。
『働く女子と罪悪感 「こうあるべき」から離れたら、もっと仕事は 楽しくなる』	浜田敬子著	集英社	2018年	366.3ハ ミズイロ	メディア業界の最先端で挑戦を続ける著者が、次世代に向けて、この30年間、自分と同じ均等法世代の女性たちがどんな経験をし、どんな思いで仕事を続けてきたのかを語る。
『パパとママの育児戦略』	NPO法人 ファザーリング・ジャパン著	repicbook (リピックブック)	2018年	366.6フ ミズイロ	パパとママが仕事と家庭を両立するためには、出産前から職場復帰後までどのような戦略がなぜ必要なのか。両立戦略の重要性に触れ、実践できるノウハウを提供する。
『WORK DESIGN(ワークデザイン) —行動経済学でジェンダー格差を克服する』	イリス・ボネット著 池村千秋訳	NTT出版	2018年	367.1イ ミドリ	人の意識や行動を決定づけるバイアスの存在を明らかにし、行動デザインの手法で、ジェンダー・ギャップ問題のエビデンスに基づく具体的な解決策を提示する。
『誰も教えてくれなかった 子どものいない人生の歩き方』	くどうみやこ著	主婦の友社	2018年	367.1ク ミドリ	子供がいない女性たちの本音、心理学・社会学など各分野の専門家からの見解、人生を好転させるヒントなど、子供がなくても豊かな人生を送りたいと願う女性たちに贈る。
『「子なし」のリアル』	奥平紗実著	幻冬舎 メディア コンサルティング	2017年	367.2オ ミドリ	無神経な発言等で孤立を深める子供がいない人たち。その人たちが置かれている現実とは？子供がいる人もいない人も、相互に理解し、尊重し合えるような社会を目指して。
『百年の女 —『婦人公論』が見た大正、昭和、平成』	酒井順子著	中央公論新社	2018年	367.2サ ミドリ	大正5年に創刊され、平成28年に創刊100周年を迎えた『婦人公論』。その100年の歴史をひもとくことで、日本女性がいかに生きてきたかを振り返る。
『男女平等はどこまで進んだか —女性差別撤廃条約から考える』	山下泰子、矢澤澄子監修 国際女性の地位協会編	岩波書店	2018年	367.2ヤ ミドリ	女性差別撤廃条約の理念と条文の内容を、身近なテーマやトピックスにより解説。家庭、職場、地域、社会全体での課題を現状をふまえながら明らかにする。
『モラハラ環境を生きた人たち』	谷本恵美著	而立書房	2016年	367.3キ キイロ	モラハラ被害後に誰もが経験する、被害者としての心のうずきに焦点を当て、モラハラから離れた後の心のケアの大切さを知り、実践するための本。
『没イチ パートナーを亡くしてからの生き方』	小谷みどり著	新潮社	2018年	367.7コ ピンク	配偶者が没しひとりになった「没イチ」がどう立ち直り、新たな生活をスタートさせたのか。その事例や、没イチになる前の心づもりと準備、その後の生き方なども網羅する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『カミングアウト』	砂川秀樹著	朝日新聞出版	2018年	367.9ス オレンジ	性的マイノリティであることを打ち明ける一。告白を決断した人たちとその家族にどのような困難と葛藤があるのか。8つのストーリーから探る、カミングアウトの現在。
『子どもの性同一性障害に向き合う 成長を見守り支えるための本』	西野明樹著	日東書院本社	2018年	367.9ニ オレンジ	性別違和感や性同一性障害を抱く子供たちの相談事例などを紹介し、そうした子供たちを理解し、よりよい未来をともに考えていく上で必要なことやポイントを記す。
『お母さん！ 学校では防犯もSEXも避妊も 教えてくださいませんか！』	のじまなみ著	辰巳出版	2018年	367.9ノ オレンジ	「性教育にはメリットしかない！」という著者が、性犯罪の防ぎ方を含め、大切な知識として子供に正しく伝えるために知っておいてほしいことをわかりやすくまとめる。
『被災経験の聴きとりから考える 一東日本大震災後の日常生活と公的支援』	土屋葉、岩永理恵、 井口高志、田宮遊子編	生活書院	2018年	369.3ツ ピンク	障害のある人たち、母子世帯、単身の高齢女性たちなど、震災が弱者と呼ばれる人たちに与える影響と支援のあり方を、聴き取り調査から考える。
『子どもの貧困ハンドブック』	松本伊智朗、他編著 「なくそう！子どもの貧困」 全国ネットワーク編	かもがわ出版	2016年	369.4マ ピンク	子供の貧困について学び、貧困をなくしていくための取り組みを始めようとするときに、必要で役立つ基本的な考え方や知識・データなどをコンパクトにまとめたハンドブック。
『暴力を受けていい人はひとりもない』	阿部真紀著	高文研	2018年	371.4ア ギン	CAP(子供への暴力防止)とデートDV予防ワークショップで出会った子供たちが教えてくれたこと。それらを多くの人に知ってもらうため、著者が自身の歩みとともに綴る。
『摂食障害 一身体にすり替えられたところの痛み一』	深井善光著	ミネルヴァ書房	2018年	493.9フ オレンジ	「摂食障害は食べる・食べないの病気ではない」。食行動の異常という偽装に惑わされず、真の課題を探ることが病を治すことにつながるという、食べることを強要しない治し方。
『50歳からの婦人科 こころとからだのセルフケア』	松峯寿美監修	高橋書店	2018年	495.1マ オレンジ	女性ホルモンの役割や骨盤底筋のトレーニング、こころとからだのセルフケアなど、婦人科医から女性ホルモンが少なくなり始めた女性たちへのアドバイス。
『あなたがひとりで生きていく時に 知っておいてほしいこと ひとり暮らしの知恵と技術』	辰巳渚著	文藝春秋	2019年	590タ キイロ	親から子へと伝えたいひとり暮らしの心構えとノウハウ。食、健康、お金、安全などに関する人が自立して生きていくために必要なさまざまな知識や技術を説明する。
『貯金0(ゼロ)でも「お金に強い女(ひと)」になれる本』	笠井裕予、北端康良著	経済界	2018年	591カ キイロ	お金に強い人になるためのピリーフ(お金観)の持ち方や考え方、行動のコツを伝授する。
『まんが アフリカ少年が日本で育った結果』	星野ルネ著	毎日新聞出版	2018年	726.1ホ チャイロ	カメルーン生まれ、関西育ちのアフリカ少年が見たニッポン観察日記。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『母の老い方観察記録』	松原惇子著	海竜社	2018年	914.6マ チャイロ	50年ぶりに実家に戻った著者と、おしゃれ・お出かけ大好きで、素敵な友達に囲まれた92歳の母。そんな母と娘の生活から見えてくる、元気で老いるためのヒント。
『自分のままで暮らす』	吉沢久子著	あさ出版	2016年	914.6ヨ チャイロ	自分らしく、自分なりに、他人の価値観に惑わされることなく、楽しく暮らす。歳を重ねてからの人生を楽しく生きていくためのメッセージが詰まった一冊。
『しんどい母から逃げる！！ ～いったん親のせいに見てみたら 案外うまくいった～』	田房永子著	小学館	2018年	916タ チャイロ	心理的に母と一体化したように感じて生きてきた著者が、親のせいにする事で母から離れ、新しい自分に出会い、自分自身の人生を取り戻すまでを描くイラストエッセイ。
『ふたりママの家で』	パトリシア・ポラッコ絵・文 中川亜紀子訳	サウザン ブックス社	2018年	Eパ 絵本	遠い国から養子に迎えられた女の子が、愛情いっぱい自分を育ててくれたふたりのママと、同じように養子に迎えられた弟と妹との思い出を語るあたたかい物語。